

学校名 薩摩川内市立手打小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>薩摩川内市立手打小学校は、山と海に囲まれた自然豊かな甑島の南端に位置しており、学校の前には、長さ2キロに渡る手打浜が広がっている。子供たちは、夏には海で遊ぶ機会も多く、また、地域の漁協の方々に協力をもらい、地引網やろこぎ体験、鯛の稚魚の放流など身近な自然に関わることが多い。</p> <p>一方で、潮の流れによっては、空き缶やペットボトル、プラスチックなど、多くのごみが海岸に漂着しており、定期的に地域清掃活動を行っているものの、ごみは減ることがなく、環境が脅かされている現実も目の当たりにしている。</p> <p>このような現状を踏まえ、環境美化に向けた課題解決に向けて、地域と一体となった美化活動に継続的に取り組んでいる。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい ③ 月間又は年間活動回数	<p>平成24年度から手打小・海陽中の全校児童生徒による年1回の海岸清掃が行われている。令和3年度からは、海陽中の休校と手打小の児童減少に伴い、地域住民にもこの活動を広げ、地域と一緒に手打地域の海をきれいに清掃する活動を始めた。今年度は、手打地域に住む海星中の生徒と一緒に、手打浜の清掃活動に取り組んでいる。</p> <p>さらに、地域が一体となって取り組んでいる「甑島アクアスロン大会」に向けて、小学校でも武家屋敷通りの清掃活動を行い、島外からの参加者が気持ちよく大会に参加できるよう協力してきた。この活動も平成24年度から年1回行っている。</p> <p>今年度からは、5・6年生の「ふるさと・コミュニケーション科」において、砂浜に打ち上げられたごみを週1回拾い、種類ごとに分け、どのようなごみが漂着しているか調査し、調査結果をまとめる活動も行っている。</p> <p>手打小・海星中地域海岸清掃 「クリーン作戦」 手打小武家屋敷通り清掃 「クリーン作戦」 「ふるさと・コミュニケーション科」 手打海岸 SDGs 海岸ごみ拾いとごみの種類調べ</p> <p>手打小・海星中地域海岸清掃：年1回 手打小武家屋敷通り清掃：年1回 「ふるさと・コミュニケーション科」 手打海岸 SDGs 海岸ごみ拾いとごみの種類調べ：週1回</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	長さ2kmに渡る手打浜 700mに及ぶ武家屋敷通り
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	手打小・海星中地域海岸清掃 児童14人、生徒15人、教職員6人 地域住民5人程度 手打小武家屋敷通り清掃 児童14人、教職員6人、地域住民10人程度 海岸ごみ拾いとごみの種類調べ 5・6年生4人、教職員1人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	約45分
⑦ 収集物の処理	燃えるごみ、燃えないごみに分別しながら、ごみを集める。集めたごみは、コミュニティ協議会や下甕支所が処分する。 「ふるさと・コミュニケーション科」では、集めたごみを分別して集計し、結果をまとめている。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	手打小と海星中の児童生徒で縦割りの4グループに分かれ、手打浜の清掃活動を行った。 また、手打浜に打ち上げられるごみの種類や数を調べ、まとめることにより、郷土の環境保護の現状を把握し、環境を守ろうとする実践力の向上につなげている。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	手打浜は、海水浴場として利用され、観光地にもなっており、アクアスロン大会、十五夜行事や鬼火焚きの地域行事で年間を通して利用されることが多い。クリーン作戦や武家屋敷通り清掃の取組は、地域住民から喜ばれ、児童にとっては地域に貢献するということを実感しながら活動をする事ができる。
② 地域住民との協力活動	児童減少に伴い、児童のみで実施できる活動も限られてくるため、地域住民に呼びかけを行い、一緒に活動を行っている。また、下甕支所からも、放送での呼びかけや子供たちが集めたごみを回収するなどの協力を得ている。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	【保護者から】 子供たちが大切にしている海岸の清掃は、地域を愛する活動としても大切だと思う。また、この活動をすることで、子供たち自身もごみの捨て方を考えるようになった。 【地域から】 子供たちが一緒に清掃してくれたおかげで、海岸がとてもきれいになった。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>クリーン作戦を実施することで、色々な国のごみを確認し、日本だけでなく、世界的にもごみの問題があることを子供たち自身が実感することができた。</p> <p>自分たちの手でごみを回収し、美しくなった海岸を見ることにより、環境美化に対する意識の向上と、故郷を大切にしたいという思いが育まれている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>【児童の感想】</p> <p>海岸を掃除するととても気持ちがいいです。海をきれいにする活動がみんなに広がっていけばいいと思う。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>定期的に地域行事として行われる新田神社の清掃や海岸清掃、武家屋敷通りの清掃など、子供たちの参加も多い。また、社会福祉協議会が推奨しているボランティアカードを活用し、子供たちがボランティアポイントを集める活動を行っている。</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	<p>該当なし</p>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p>教育課程編成の際、ふるさと・コミュニケーション科として時間を設定し活動の時間を確保した。また、1単位時間（45分）で反省まで行うことができるように工夫した。中学生と共に縦割りで行動することにより、小学生は、中学生へのあこがれをもち、中学校生活への意欲が高まり、中学生は、小学生への優しさや思いやりの発揮を通して、リーダーシップ力を高め、自分への自信を持たせることができるなど、薩摩川内市が進めている小中一貫教育のねらいも十分満たしており、より充実した清掃活動となった。</p>
3 その他特記事項	<p>該当なし</p>

(別紙)

手打小・海星中 地域海岸清掃「クリーン作戦」



中学生と縦割りでグループを作ります。



どんなごみがあるか確認しながら。



中学生と協力して



ごみをしっかり分別しながら。



たくさんのごみを集めました。



砂浜がきれいになりました。

「ふるさとコミュニケーション科」手打海岸 SDGs 海岸ごみ拾いとごみの種類調べ



海岸にあったごみ



丁寧に分別しながら



みんなで協力して



プラ 104こ

集めたごみを分別してまとめる



スチール 47個



木 1 ビニール 4

ロープ 3 タバコ 2



ペットボトル 4本



浮くもの



浮かないもの



- プラスチックが流されて波の勢いでかけた数が多かった。
- 鉄が少し付いていた。

6月 29日 木曜日

手打小武家屋敷通り清掃「クリーン作戦」＜R4の写真＞



みんなで協力して落ち葉を集めます。



武家屋敷通りがきれいになりました。